

KAMOみーる KAWO首ーる

目次

男女共同参画に関する講義について	P1
「メンターに会って話してみよう！」	P2
カモミール・カフェ in 工学部	P2
出前講義 @長良中学校	P2
研究補助員配置制度の意見交換会	P3
働く親のための夏休み子ども充実ガイド	P3
子ども向け学内イベントのお知らせ	P3
お知らせ掲示板	P4
「ほほえみ」便り	P4
かもみーる取材紀行 第4弾	P4

~ NEWS Letter ~ 13号 2011.7

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜「少子社会を考える」にて
男女共同参画推進室員の大藪氏(教育学部)が講義を担当しました。

平成23年6月14日(火)3時限に岐阜大学・ネットワーク大学コンソーシアム岐阜共同授業「少子社会を考える」にて大藪千穂室員(教育学部 教授)が、「アーミッシュ社会から少子社会を考える」と題して講義を行いました。学生80名、コンソーシアム聴講者10名が聴講しました。アーミッシュとはキリスト教・プロテスタントの小会派で、現代でも信仰に基づき農業を主とした簡素な生活を送っています。少子社会とは無縁で、子どもの数は平均約7人です。講義では、アーミッシュ社会と現代社会での家族とコミュニティのあり方や子どもの役割の違いが紹介され、現代における問題を考える機会となったようです。



講義の様子

学生の声：レポートより

- アーミッシュの人々は家族のつながりがとても強く、家族を大切にしていることが分かりました。人とのつながりを大切にすることが少子社会を考えていく上で大切だと思いました。(工学部・男性)
- 大藪先生の問題提起で「少子化は悪いこと？」ということで考えさせられた。日本だけで見れば悪いことだと思うが、世界中がつながっていると考えれば悪いとは思わない。(看護学科・女性)
- 非常に興味深い講義だった(教育学部・男性)

- 子どもの存在が「生活に必要な労働力」から「楽しみのための存在」へ変化しているという考え方に、ハッとさせられました。(教育学部・女性)
- 子どもが両親をもっと手伝えば両親も働けるし、私ももっと親の手伝いを頑張ろうと思います。(教育学部・女性)
- 国家が一つ一つの家庭を支えるのは難しい。小さな地域が子育てを支え、子育てしやすい環境を整えることで少子化にも貢献できるのではないか。(看護学科・女性)
- 新しい視点で少子化について考えることができた(工学部・女性)



アーミッシュは、電気も自動車も使用せず、交通手段は馬車。

「岐阜大学の教育研究と運営」にて男女共同参画推進室長の
林正子副学長が講義を担当しました。



講義の様子

平成23年6月27日(月)1時限に「岐阜大学の教育研究と運営」(コーディネーター：岡野幸雄理事)にて林正子室長(副学長/地域科学部・教授)が「男女共同参画社会の実現に向けて」と題して講義を行い、学生80名が聴講しました。男女共同参画社会の定義や岐阜大学の取り組みなど、日本の現状や本学の実状を説明しました。学部学生の男女共同参画に係わる関心を喚起する機会となったようです。

学生の声：小レポートより

- 自分も将来結婚して子どもを持つかも知れない。自分1人で家族を養えない場合、妻にも働いてもらわなければならない。その時、妻の再就職先はあるのだろうか。そう考えると自分に全く関係ない問題ではなかった。(工学部・男性)
- 将来、研究者として働いていきたいです。女性研究者への支援があるのは心強く思います。「女だから」と諦めるのも諦めさせられるのも嫌なので、色々勉強して頑張りたいです。(応用生物科学部・女性)
- 女性と男性の学ぶべき事やするべき仕事を決めつけてしまわずに性別と関係なく1人1人が1人の人間として考えられる必要があると思う。(工学部・女性)

- 女性に対する支援は多くあるが、男性に対する支援があるか知りたい。(教育学部・男性)
- 私は将来、教員になりたいし、結婚もして子ども欲しい。(教育学部・女性)
- 男性も料理をすることも男女共同参画に関連すると思う。健康で生き生き暮らせるよう個々の生きる力を身につけるべきだと思う。(工学部・男性)
- 自分は教育学部なので、女性教員の講義を受けることがわりと多いため、もっとたくさんの女性教員がいてほしい。(教育学部・男性)
- 男女が共に活躍できる社会になれば1人1人の生き方が豊かになっていくと思います。(教育学部・女性)

カモミール・カフェ 「メンターに会って話してみよう！」

メンター制度とメンターの紹介を目的とした「メンターに会って話してみよう！」を開催しました。

7月6日（水）は教育学部教授の大藪千穂氏が、「『カッコイイ』をめざしてきたスツコ人生」と題し、これまでの生い立ちを振り返りながら、それぞれの節目で考えていたことを周りの人間関係を含めながら話されました。

7月13日（水）は男女共同参画推進室特任准教授の三宅恵子氏が「研究者カップル問題をどうぐり抜けるか」と題し、これまでの経験をもとに、この問題への解決策について話されました。

どちらも打ち解けた雰囲気の中で、参加者は笑いあり、共感ありの歓談を楽しんでいました。



会場の様子



大藪先生



三宅先生

メンター制度利用案内

岐阜大学が取組むメンター制度とは、女性研究者および研究者を目指す女子学生が生活上、学業上、進路選択上の悩みを抱えた際に、同様の経験を乗り越えてきた先輩研究者（メンター）に相談できる環境を提供することで、女性研究者の育成および研究者としてのキャリア形成を支援する制度です。

利用対象者

本学に在籍する女性研究者（教員、医員、研修医、研究員）、女子大学院生、研究者を志望する女子学部生。（男性の研究者、大学院生、学部生で利用を希望する場合はお問い合わせください。）

メンター制度の利用を希望される方は男女共同参画推進室までお知らせください。

カモミール・カフェ in 工学部

平成23年6月29日（水）にカモミール・カフェin工学部を工学部E棟コミュニケーションホールにて開催しました。学部1年生から大学院修士課程2年生までの13名が参加し、ランチを食べながら、研究室での生活や進路、就職活動などについて話をしました。和やかな雰囲気の中、先輩後輩交えて自由に交流を楽しんでいたようです。



参加者の感想

- * 学年が下の子とお話しできて楽しかったです。
- * 今回初めて参加しましたが、様々な話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。またこのような会があれば参加したいと思います。
- * 2年生の子が研究室に興味を持ってくれてよかった。
- * 自由に話すことができてよかったです。
- * 違う学科の人と話して、自分の学科の異なる点が聞けておもしろかったです。

出前講義 @長良中学校

平成23年6月19日（日）に男女共同参画推進室の松藤淑美特任助教が、岐阜市立長良中学校の2年生118名と保護者56名を対象に出前講義を実施しました。

「微生物のチカラ - 酵母のストレス環境への適応メカニズム - 」と題した講義では、前半に、酵母のストレス応答研究について、後半では、自らの進路選択の経緯についてお話ししました。生徒からは、「微生物に少し興味を持ちました。」「勉強を頑張って、自分のやりたいことを見つけていきたい。」との声が寄せられました。



同行した出前講義メンバーの感想



応用生物科学研究科 修士課程2年
山口早希子さん

実際に学校を訪問することで、生徒が様々な学校行事（特別活動）を通して教科以外にも多くを学んでいることがわかり、自身が講義を行う際は、そうした学校行事についてもよく学んで講義に取り入れられたらいいなと感じました。



応用生物科学研究科 修士課程2年
北川絵里奈さん

自分が発表する際に話したいことや気をつけるべきことなどのイメージが膨らみました。講義するターゲットに合わせて、話す内容のウェイトも調節するなど、今回感じたことを活かしながら、スライドの構成や話し方など工夫していこうと思います。

研究補助員配置制度の意見交換会

6月24日(金)に、カモミール・カフェにおいて研究補助員配置制度の利用者と男女共同参画推進室員の意見交換会を開催しました。この意見交換会は、研究補助員配置制度利用者の視点から本制度の長所と短所を指摘してもらうことで、次回以降の制度運用の際の参考にしようという意図で行われました。意見交換会では、研究補助員配置制度を利用して改善された点から研究補助員のキャリアアップまで幅広く語り合いました。さらに、研究補助員配置制度の改善して欲しい点についても利用経験からの率直なご意見を頂きました。



当日の様子

今後は、これらの意見をまとめたうえで、研究補助員配置制度がより利便性の高い制度となるように改善を図っていくつもりです。

働く親のための夏休み子どもガイド 配布中

女性研究者支援および学内で働く教職員を対象に、子どもも親も充実して夏休みを過ごせるように、岐阜県内の体験学習や子どもが参加できるイベント情報などを載せたガイドを作成しました。

ガイドには、岐阜市近郊の博物館や美術館で行われる子ども向けのイベント情報や自由研究にお勧めの本の紹介、子どもでも作れるご飯やおやつメニュー、急病の場合の診療所一覧などが含まれています。

*** ご希望の方は、男女共同参画推進室で配布しておりますのでお立ち寄りください。電話やEメールでの配送も受け付けておりますので、ご入り用の方は男女共同参画推進室までご連絡ください。**



イベントスケジュール 8月1日~8月7日						
日付	イベント	時間	対象・定員	参加費・入場料	申込方法	申込期間
8月1日						
8月2日	アクト・スタジオ 実験ワークショップ	11:00~12:00	小学生とその保護者 10人	小学生 100円 大人 400円	はりすまーホームページ	7/25(金)~7/27(日)
8月3日	岐阜県立歴史博物館 夏休み子ども体験学習	10:00~16:00	小学生以上 10人程度(保護者同伴可)	無料	電話予約	7/25(金)~7/27(日)
8月4日	深川歴史館 自然発見館 実験ワークショップ(子ども向け)	10:00~11:00	小学生 10人	100円(10名)	電話予約	7/25(金)~7/27(日)
8月5日	深川歴史館 自然発見館 実験ワークショップ(小学生向け)	10:00~11:00	小学生 小学生とその保護者 10人	100円(10名)	電話予約	7/25(金)~7/27(日)
8月6日	アクト・スタジオ 実験ワークショップ(アート)	11:00~12:00	小学生とその保護者 10人	小学生 100円 大人 400円	はりすまーホームページ	7/25(金)~7/27(日)

ガイドの一部。情報満載です。

子ども向け学内イベントのお知らせ

キッズサイエンススクール2011

8月23日(火)開催

男女共同参画推進室では長期休暇中の学童保育の一環として、本学に勤務する教職員の子どもとその保護者を対象に「キッズサイエンススクール 身近な材料でキッチンサイエンス、いろいろおいしいマジック実験」を開催します。

午前中は、自己紹介とゲームをした後、学内見学を行います。午後からはキッチンにあるものを使って実験を行います。実験は、色の実験(紫キャベツをつかった実験)、おいしい実験(マシュマロ、チーズの実験)、マジック実験(水と油を使った実験)を行います。

詳細については、岐阜大学男女共同参画推進室までお問合わせください(内線:3397)

岐阜大学キッズサイエンススクール
「身近な材料でキッチンサイエンス いろいろおいしいマジック実験」

プログラム
自己紹介のゲーム
大卒後院生
キッチンサイエンス
- 色の実験 (紫キャベツを使った実験)
- おいしい実験 (マシュマロ、チーズの実験)
- マジック実験 (水、油、洗剤を使った実験)

日時: 平成23年8月23日(火) 09:00~16:00
場所: 岐阜大学男女共同参画推進室 3F 3397
対象: 本学に勤務する教職員の子ども(小学生) / 子どもの保護者(保護者) 10名(要予約) 定員: 11名(要予約)
参加費: 100円(材料費含む)
申込期: 要予約・要問

〒505 8581 岐阜大学男女共同参画推進室(大学2号館)
056 293 3397 saritaku@u-gifu.ac.jp

女性医師就労支援の会「サマースクール2011」

8月25日(木)・26日(金)開催

医学部・同附属病院女性医師就労支援の会(代表:清島真理子教授)が、長期休暇中の学童保育の一環、及び保護者の職場見学として、医学部・医学部附属病院の教職員のお子さん対象に「サマースクール2011」を開催します。

25日(木)は、「予防接種のお話」などの聴講型イベントから「ドクターヘリ見学」「体を守る 護身術を学ぼう」や「火なしで作れる食事作りを学ぼう。体にやさしい食事とは?クッキングスクール」といった体験型イベントまで様々な企画が予定されています。26日(金)は、「卵からマヨネーズを作ろう」、「放射線のお話」、「エコ体験」、「バイタルチェック」など普段はなかなか経験できない体験を実際にやってみることができます。

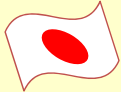


「サマースクール2011」の詳細については、女性医師就労支援の会までお問合わせください。 去年の様子お問合わせ先:内線:6173(担当 松本・奥村)

共催 岐阜大学医学部・同附属病院女性医師就労支援の会、男女共同参画推進室、地域医療医学センター

お知らせ掲示板

特別公開講演会開催のお知らせ



男女共同参画の実現をめざして
スウェーデンの実践例から学ぶ

日時：7月26日(火) 14:30~16:30

主会場：全学共通教育棟多目的ホール

講師：エルスマリー・アンベッケン氏

(関西学院大学人間福祉学部 教授)

内容：スウェーデンとの比較から、日本の男女共同参画の実現に向けた解決策を考察します。

共催：ネットワーク大学コンソーシアム岐阜



オープンキャンパス

8月9日~11日のオープンキャンパスで、男女共同参画推進室の活動やサイエンス夢追い人育成プロジェクトの活動を紹介するパネル展示をおこないます。

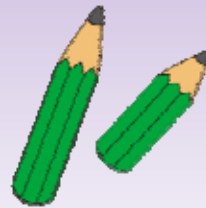
カモミール・カフェでは、皆さんに休憩室としてご利用いただけるよう、お茶などを用意してお待ちしています。

学内保育園
「ほほえみ」

お兄さん、お姉さんと粘土器作ったよ♪

7月6日(水) 本学教育学部美術教育講座4年生の6名が学内保育園「ほほえみ」を訪れ、園児に粘土工作を指導しました。これは、教師を志す学生が造形活動を通して幼稚園児と交流する「フレンドシップ事業」の一環。園児たちは、お兄さん、お姉さんたちに教えてもらいながら、ちよっぴりヒンヤリする粘土をこねこねするのを楽しんで、思い思いの形に仕上げていきました。

さて、どんな作品が仕上がったかな・・・?? 完成品は、焼きあがり後のお楽しみ みなさんにも後日、紙面にてご披露します お兄さん、お姉さん、上手に焼いてね!



かもみーる取材紀行 第4弾

NHK Eテレ めざせ! 会社の星「めざせ! 患者さんの星」に

医学部附属病院泌尿器科の女性医師 増栄孝子氏が出演されました。



出典：NHK名古屋 会社の星HP



増栄氏(左)と岐阜大学女性就労支援の会代表清島真理子氏(右)

6月4日(土) 23:55-0:20 NHK放映された めざせ! 会社の星「めざせ! 患者さんの星」に本学医学部附属病院泌尿器科の増栄孝子医員が出演されました。放送では、「女性医師が抱えるワークライフバランスの悩み」として、2人のお子さんを持つ女性医師の増栄氏の慌ただしい1日に密着取材が行われました。今回は、室員で女性医師就労支援の会代表の清島真理子氏がインタビューしました。

Q. 女性医師として働く中でワークライフバランスについて悩みはありますか?

A. 子どもの心の成長が心配といつも思っています。いろいろな子育てサービスがあり実際に子どもの体は育つのですが、やっぱりお母さんの代わりはいないので、どうサービスを受けてもこの悩みは消えないと思います。あとは新しいことを勉強する機会がぐんと減ったことでしょうか。

Q. 岐阜大学が行っている研究補助員制度を利用した感想はいかがでしたか?

A. 疫学に関する調査で300名程度のアンケートを集めて紙ベースのものをデータ入力するというのを自分でやっていたんですが、とても追いつかなくて、、、。どうしようかなと思っていたところで、研究補助員を1人配置していただいて、データ入力を全部終えることができました。私はその間、外来や論文の修正などができてとっても助かりました。ありがとうございました。(詳細は女性医師就労支援の会HPをご覧ください。)



岐阜大学男女共同参画推進室(人事労務課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396

E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp